



ごあいさつ

校長 上野 修 一

新年度を迎え、PTAだより「みなみ」の発刊にあたりまして一言ご挨拶を申し上げます。

まず初めに、本校生徒の指導にあたりましては、日ごろから種々ご理解とご協力をたまわり誠にありがとうございます。深く感謝の意を表します。おかげさまで、去る3月には278名の卒業生が無事に本校を巣立って行きました。卒業生の進路は、大学への進学が短大を含めて195名(そのうち国公立が11名)、専門学校が73名、就職が7名でした。詳しいことは進路指導部からの資料をご覧ください。

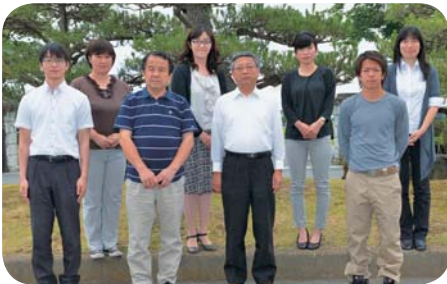
さて、今年の進学のなかで私が最も嬉しかったことは、運動部で活躍した生徒が法政大学と明治学院大学にそれぞれ合格したことでした。部活動と勉強の両立は、まさに「言うは易し、行うは難し」で、多くの生徒が分かってはいるけれど実践できないのが実情だと思います。そのような中で彼らが夏の大会以後、クラスの仲間と助け合いながら時には南図書館に学習の場所を移して、数か月の苦しい時間を頑張り抜いたことに賞賛の言葉を贈りたいと思います。その一方で、あと一頑張りすれば希望の進路が叶いそうなところ

まできているのに、不安に負けてしまいレベルを落とすとして妥協してしまうという、勿体ない姿も多く見かけました。なかには、担任があと少しだと申し上げても保護者の方が弱気になり、生徒に妥協を迫るという残念な事例も含まれています。生徒の進路については、それぞれのご家庭に事情があることは当然理解してはおりますが、できる限り子供たちの「伸びしろ」を信じていただきたいと思います。

なぜこのような事を申し上げますのかと言いますと、本校の生徒は上の学校に行つてから真面目に勉強する子が多いからです。昨年度は10人以上の大学や専門学校の方々に直接お会いする機会がありました。皆さんが口を揃えて「宇南高の生徒さんは、在学中に大きく伸びる」と褒めて下さいます。臆びの曲がっている私は、当初、社交辞令だと思つていました。しかし具体的な話を伺うに及んで、考え方を変えました。宇南高の生徒は「学校は学ぶところである」という基本は、皆、わかっているのです。しかし、高校時代には遊びも含めて他にやりたいことがあるために勉強に集中できないというのが実態で、心の成長に伴う歳になってようやく本気になって勉強を始めるようです。

こうした傾向がわかったことで、本校生にはキャリア教育が重要であるとの確信を得ました。そこで今年度からは職業に関わる知識や体験を増やし、それに必要な要素として知識を学ぶことの重要性を理解させることに力を入れようと考えています。また、昨年度からは県の教

育施策として、地域で子供を育てるとして「栃木・ふるさと学習」が重要視されるようになり、高等学校にも地域との連携が強く求められています。幸い、宇南高のある雀宮地区は小中高のPTA連合会が既に組織されています。大学や専門学校卒業後、Uターン率や、地元での起業率の高い本校にとつて、地域との連携は極めて有り難い教育施策と言えます。しかし、保護者でもない地域の方々に学校に足を運んでいただくことは、簡単なことではありません。先生方にとつても不慣れな仕事です。それを少しずつ解消するために、本年度から「宇南高アカデミー2015」という連続講座を始めることにしました。これは本校が独自に土曜日の補講の午後に活用して、地域の方々と一緒に生徒が学ぶ場を提供するものです。保護者の方々にもぜひご参加いただき、生徒の心の成長を助けていただければと思います。よろしくお願いいたします。



事務

上段右から

- 稲村真利子(主査)
- 塩谷 貴子(司書)
- 齊藤恵美子(主査)
- 中村 有紀(PTA職員)
- 下段右から
- 平泉 衝(公仕)
- 柏崎 俊雄(事務長)
- 高橋 佳幸(技査)
- 岩淵 和也(主事)



理科

上段右から

- 岩永沙由里(1の5副)
- 満岡 紀子(実習教員)
- 板倉有紀江(1の6正)
- 小瀧 貴子(2の5副)
- 木村 孝弘
- 下段右から
- 飯竹 雅巳(3学年付)
- 藁科 実(3の7副)
- 唐木澤妙子(3の5正)
- 針谷 英子(2の6正)

お世話になります。



PTA会長 石 井 宮 子

先日五月十五日のPTA総会におきまして、PTA会長を拝命しました石井宮子です。

保護者の皆様には日頃よりPTA活動に対し、深いご理解とご協力・ご支援を頂き誠にありがとうございます。今年度も変わらぬご支援をいただければ幸いです。

南高といましては、初めての女性会長ということもあり、皆様のご心配も有ると思いますが、上野校長先生を始め先生方や、事務の皆様、PTA副会長他役員の皆様に助けていただき、PTA活動を充実させていきたいと考えております。

また、今年度より地域の皆様との交流活動、今までも雀宮9校として活動交流してまいりましたが、生徒だけではなく地域の多くの年齢層の皆様と交流をすることにより、相手に対する考え方や、接し方の違いの中で自分や、自分の家族以外の人の自分に対する見方などを実際に感じる事により、これから進むべき進路を感じられたら何よりです。

学校と保護者はよく車の両輪に例えられますが、正にその通りだと思います。どちらかが強過ぎたり、弱過ぎたり止まってしまうえば忽ち動きを奪われてしまいます。何より子ども達の進路実現のために、双方がお互いを尊重し理解し合いながら、情報の共有の手助けになる活動に少しでも多く協力してまいります。何度もお願ひになりますが皆様のご理解・ご協力をお願い致します。一年間よろしくお願ひ致します。

### 教職員紹介



校長 長 修一  
校 長  
上野



頭 浩之  
教 坂本

#### 一年生に望むこと

一年生主任 塚田 優子  
高校生活を充実するために、一年生には次のことをお願いしたい。一つは、毎日の生活をしつかりやること。学習はもちろん、部活動やHR活動、清掃などにも真剣に取り組んでもらいたい。もう一つは、自分の進

路について、じっくり考えること。例えば十年後、どんな自分になっていかを考えて、今自分がどう行動すべきかを判断してもらいたい。保護者の方にもお子様がどのような進路に向かうべきか、一緒にお考え頂ければと思います。

#### 二年生に望むこと

二年生主任 佐藤 弘子  
クラス替えから三ヶ月。各自がそれぞれのポジションを掴み、部活動等でも主力になりつつあって今後が楽しみです。

学生の自分である勉強は、まだまだ気合いが入らない様子で心配です。スタートは早いほど有利です。ライバルは校外にいます。勝負できる力をつけるためには何が必要か分かっていますよ。実行あるのみです。修学旅行後は進路実現に向けてまっしぐらです。「今」を無駄にしないでください。ご家庭でも励ましをお願い致します。

#### 三年生に望むこと

三年生主任 唐木澤 妙子  
いよいよ三年生。進路決定の正念場はもうすぐです。つらい苦しい場面でも、最後まで逃げずに自己実現に向かって頑張ってほしい。そのための力をつけて卒業してもらいたい。

一つは「自律」。自分をコン

トロールする力。弱い自分に負けていくための力。もう一つは自分のことに「責任」を持つこと。そして自分の道は、最終的には自分自身で決断して、自信を持って歩んでいってください。



#### 国語科

- 上段右から
- 小柳 義一
- 上杉 晃世 (2の3正)
- 佐藤 弘子 (2の2正)
- 吉田 信行 (1の1副)
- 下段右から
- 加藤 泰人 (3の3副)
- 山崎 和美 (3の2正)
- 栗原 由佳 (1の3副)
- 堀井 利光 (2学年付)



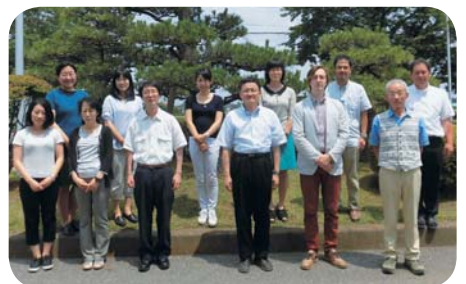
#### 数学科

- 上段右から
- 鷗月 洋一 (1の4正)
- 増淵 裕子 (2の7正)
- 塚田 優子 (1の7正)
- 五月女美智子 (2の1副)
- 下段右から
- 福田 峻 (1の6副)
- 手塚 直也 (3の6正)
- 藤田 昌巳 (3の5副)
- 坂本 浩之 (教頭)



#### 社会科

- 上段右から
- 中田 良直 (3の4正)
- 飯島 好子
- 落合 敬行 (2の7副)
- 下段右から
- 長平 佳史 (2の1正)
- 石川 努 (3の1正)
- 石川 誠 (主幹教諭)
- 木村 元春 (1の2副)



#### 英語科

- 上段右から
- 伊東 賢治 (2の5正)
- 西垣 徹 (3の2副)
- 渡辺 聡代 (1の1正)
- 三島つかさ (1の7副)
- 小林 裕美 (2の4副)
- 稲葉 久恵 (1の2正)
- 下段右から
- 山本 仁
- バトリック アレクサンダー
- 吉沢 幹夫 (3の1副)
- 足立 一則 (2の6副)
- 長谷川良子 (3の7正)
- 川嶋 聡美



#### 芸術科・家庭科

- 高橋佳代子 (2の4正)
- 北村のぞみ (3の3正)
- 星野 典子 (1の4副)
- 村上 結都



#### 体育科

- 上段右から
- 中條佳津子 (養護教諭)
- 高山 啓 (3の4副)
- 鈴木 義孝 (2の2副)
- 土澤 直也 (1の5正)
- 森山由実子 (1の3正)
- 下段右から
- 遠井 努 (3の6副)
- 高橋 貴子 (主幹教諭)
- 渡辺 方夫
- 渡辺 孝司 (2の3副)